

平成 27 年 8 月 6 日

報道機関各位

**岩手町立川口中学校における復興教育との連携  
～岩手県立大学との協力により津波被災地での学習及び「避難体験」を実施します～**

岩手町立川口中学校の復興教育の取組について、岩手県立大学総合政策学部 伊藤英之教授及び学生との協力のもと、下記のとおり、津波被災地での学習及び「避難体験」を実施しますので、取材くださいますようお願いいたします。

記

**1 主催**

岩手町立川口中学校、岩手県立大学、三陸ジオパーク推進協議会

**2 期日及び場所等**

- (1) **期日** 平成 27 年 8 月 10 日 (月) 13:30～16:30  
8 月 11 日 (火) 10:00～12:00

(2) **場所**

- ア 田老町内 (防潮堤等見学、津波 DVD 視聴、避難体験 等)  
イ 浄土ヶ浜ビジターセンター (学習内容のまとめ)  
ウ シートピアなあと (ワークショップ)

(3) **参加生徒**

岩手町立川口中学校 第 1～3 学年生 16 人 (男 8 人、女 8 人)

(4) **学習の内容**

津波被災地の見学や津波 DVD の視聴、避難体験などの現地学習を通じて自然災害の危険について学び、学んだことを生かして川中生としてできることは何かを考える。

(講師：岩手県立大学、学ぶ防災スタッフ、三陸ジオパーク推進員)

(5) **行程**

- 8 月 10 日 (月) 13:30～ 田老着・学ぶ防災スタッフと合流 (防潮堤、たろう観光ホテル、津波水位プレート見学、津波 DVD 視聴、津波記念碑見学)  
15:00～ 避難体験 (田老総合事務所 周辺)  
15:30～ バス移動  
16:00～ 浄土ヶ浜ビジターセンター着 (学習内容のまとめ)  
16:30～ バス移動・宿泊先 (陸中海岸青少年の家) へ

- 8 月 11 日 (火) 10:00～ シートピアなあと着・ワークショップ (体験学習室)  
12:00～ 昼食  
13:00～ シートピアなあと発・川口中学校へ

**3 その他**

- 平成 25 年度から川口中学校と岩手県立大学が連携して取り組んできた復興教育について、今回は三陸ジオパーク推進協議会も協力し、津波被災地での現地学習を行います。
- 避難体験では、ハンディキャップをお持ちの方を想定した体験も行います。

<本件の問い合わせ先> 岩手県立大学 総合政策学部 教授 伊藤英之 TEL019-694-2722  
三陸ジオパーク推進協議会 事務局次長 下向 TEL0193-64-1230

## 【参考】

### 岩手町立川口中学校の取り組み

岩手町立川口中学校では、校訓「覇気」を掲げ、文武両道を目指し教師・生徒とも日々努力をしている。平成25年度、復興教育推進校の指定を受け「いわての復興教育」プログラムに基づき、プログラムが示す「3つの教育的価値」と「具体の21項目」との関連を整理しながら復興教育を推進。「ひとづくり」の理念を同校の実態に応じて実現させることを、大きな目的としている。同校では、復興教育をキャリア教育と関連させながら推進。学習を進める上での切り口を「夢や希望」、「地域とのつながり」、「地域づくり」の3項目で構成している。具体的な活動としては、1年生を対象とした「災害を知る」学習、2年生を対象とした「地域を理解する」学習、3年生を対象とした「地域を守る」学習を計画。

岩手県立大学との連携した取り組みとして、これまで、平成25年に防災カードゲームによる授業と講演、平成25年10月と平成26年6月に避難時要援護者体験と地域の防災マップ作り、平成27年1月に地域の立体地図作りなどを行っている。